



コミュニティ・スクール

第二回委員会開催

日時 七月二十三日（木） 十時より

場所 本校二階ランチルーム

出席者 七名

内容・議題

①委員長挨拶

②校長挨拶

③熟議「第一回で話し合われた支援内容の確認と具体的な制度の進め方」について

④事務連絡

今年度、第二回目のコミュニティ・スクール委員会が開催されました。

◆委員長挨拶

夏休み中も子供たちが熱中症などにならず元気に過ごし、新学期を迎えられるよう、家庭での注意喚起と地域での温かい見守りをしていきましょう。

◆校長挨拶

校内の中での「安全」への最優先事項、他校での火災事例を「自分事」として捉え、校長主導のもと直ちに校内の安全点検を実施しました。非常階段の活用では、昨年度「使用不可」とされていた階段でしたが、現在は、安全確認を完了し、本来の機能を活用できる体制を整えています。

避難訓練の高度化していくために、今後は、非常階段や特別教室（音楽室等）を使用したより実践的な訓練を行います。また、死角の解消をするために全教職員で校内の「ブラックボックス」を一掃しました。学校が何よりも「安全な場所」である

よう、スピード感をもって対策を講じていきます。

「伸びゆく前野小」令和八年度の学校経営計画「子供も教職員も伸びや高まりを実感できる学校」を目指しています。特に力を入れる「先行学習」は、まず知識を丁寧に加え「できた!」という実感を持たせてから応用へ繋げる手法で、子供の確かな自信を育んでいます。不登校・いじめ対策では、WeGo等のツールに加え、全教職員の「人の目」で小さな変化を見守る温かな組織づくりを進めています。

目指す姿と具体的な取り組み

- ・ 確かな学力の定着
- ・ 授業スタンダードと「先行学習」の徹底
- ・ 安心できる居場所
- ・ 組織的な見守りと不登校・いじめの早期対応
- ・ 若手教員の育成
- ・ 組織的なバックアップと働き方の適正化

◆熟議「第一回で話し合われた支援内容の確認と具体的な制度の進め方」について

一学期の成果として、一学期は、六年生の落ち着いた生活態度がみられるようになりました。また、全校朝会の復活をすることで、集団の中で話がきけるようになる等の大きな成長が見られました。

学力調査の分析結果

今回の学力調査の現状として、国語・算数ともに全国平均を上回りました。課題としては、東京都や板橋区の平均には届かない部分もあり、特に算数の活用力に課題が残ります。この解決に向け、低学年から積み重ねで、漢字や数字の正確な書き方といった「基礎」を徹底します。これからも、子供たちが自分から生活や学習など気付きや成長があった時には、その瞬間の頑張りを具体的に褒め認めていきたいと思っています。一学期の活動を通して、一年生のアサガオの種まきや三年生の地域学習では、佐藤 香委員長に講師を務めていただき、総合的な学習への子供たちの学びに彩りと深みを与えていただきました。今後は、地域支援をより円滑に依頼できるようスプレッドシート等を活用した調整システムを構築し、さらなる連携強化を目指します。

夏休みを前に、学校と地域が手を取り合い、子供たちの安全と成長をどのように見守っていくか。令和 8 年 7 月 23 日、その熱い想いを共有する第 2 回委員会を開催しました。

1. 開催概要と「安全」への最優先事項 他校での火災事例を「自分事」として捉え、齊藤校長主導のもと直ちに校内の安全点検を実施しました。

非常階段の活用：昨年度「使用不可」とされていた階段は、構造上の問題ではなく、荷物置きや引き継ぎの齟齬が原因でした。現在は片付けと安全確認を完了し、本来の機能を活用できる体制を整えています。

避難訓練の高度化：9 月・10 月には、非常階段や特別教室（音楽室等）を使用した、より実践的な訓練を行います。

死角の解消：全教職員で校内の「ブラックボックス」を一掃しました。

学校が何よりも「安全な場所」であるよう、スピード感を持って対策を講じてまいります。

2. 「伸びゆく前野小」：令和 8 年度の学校経営計画 「子供も教職員も伸びや高まりを実感できる学校」を目指します。特に力を入れる「成功学習」は、まず知識を丁寧に教え「できた！」という実感を持たせてから応用へ繋げる手法で、子供の確かな自信を育みます。不登校・いじめ対策では、WebQU 等のツールに加え、全教職員の「人の目」で小さな変化を見守る温かな組織づくりを進めます。

目指す姿

具体的な取り組み

確かな学力の定着

授業スタンダードと「成功学習」の徹底

安心できる居場所

組織的な見守りと不登校・いじめの早期対応

若手教員の育成

組織的なバックアップと働き方の適正化

第 2 回 CS 委員会において、佐藤香委員長が発言した主な内容は以下の通りです。学校安全と避難訓練の改善

- 他校の火災事故を受け、普段の教室ではない特別教室（パソコン室、ランチルーム、家庭科室など）からの避難訓練を計画に盛り込むよう提案しました。
- 昨年度は「使用不可」とされていた非常階段について「下に物が積んであったという報告があった」と言及し、学年に関わらず（1 年生も含めて）一度でも実際にその非常階段を降りる経験をさせておくことが、子供たちの安心感につながると訴えました。

● 夏休みの安全・熱中症対策

- 夏休み中も子供たちが熱中症などにならず元気に過ごし、新学期を迎えられるよう、家庭での注意喚起と地域での温かい見守りを呼びかけました。

● 低学年における基礎・基本の徹底

- 全国学力調査の結果について「思っていたより良かった」と評価しつつも、漢字の定着不足や、数字の不正確な書き方（例：「0」の端がくつつかず「6」に見えてしまうなど）に懸念を示しました。
- 高学年になってからでは手遅れになるため、1・2 年生の低学年のうちに正しい書き方などの基礎・基本をしっかり仕上げること、そしてその課題について学年を超えて教員間で情報共有することが重要であると指摘しました